

日付の「函館日日(ひび)新聞」に「市内の婦人十色」として、直子夫人が紹介されていた。

直子夫人の函館の感想が次のように掲載されている。

「函館の冬は、どんなに寒いことと思って東京から参りますと案外の暖かさ、ことに冬のこちらの婦人の外出姿を始めて拝見して珍しく感じております。雪の降る夜、薪ストーブを焚きながら雪道の鳴る下駄の音を聞いて雪国の情緒を初めて味わうことが何より嬉しく思いました。」と述べられている。

なお、記事には直子夫人は、ひまひまに洋画を研究し、夫人が描いた「屏風」は官舎にかざられていると補足されていた。

◎ 出席報告

会 員 数	70名	出 席 率	函 館 北	11月6日	86.57%
出 席	41名		函 館 東	11月5日	93.68%
欠 席	29名		函 館	10月31日	84.05%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭	11月1日	100.00%
出席合計	58名		函館亀田	11月4日	祝日休会
除 外 者	3名				

次回・12月4日
プログラム

「年次総会」



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ルイス・ビセンテ・ジアイ 1996~97年度 国際ロータリー会長テーマ
築け未来を—行動力と先見の眼で。

Build the future
with action and vision



11月27日 卓話 成澤 茂氏

《第1612回例会》 第22号 12月4日(水)

本日のプログラム

「年次総会」

★会 長 西尾昌一 ★幹 事 佐々木公和

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870

1996～1997

〈第1611回例会〉第 21 号

11月27日の記録

◎司 会 西尾 昌一 会長 ◎斉 唱 手に手つないで

◎ゲ ス ト 函館青年会議所理事長 成澤 茂 氏
上磯R.C. 特別代表 滝野敏弥君、上磯R.C. 会長 神田 弘 君
函館五稜郭R.C. 酒井正人君◎ピジター 大阪天満橋R.C. 松本 忍 君、函館R.C. 黒崎敏雄君・荻生眞二
君・川端久雄君・原 直文 君、函館東R.C. 小林隆幸君・日下
部一博君、函館五稜郭R.C. 今 均 君

◎会長報告 西尾 昌一 会長

- 22日に会長・幹事会があり、以下の事項が決定されました。
- ・合同事務所の経費について、郊外クラブの負担が半期20万円でしたが、上磯クラブが入り半期25万円となりました。不足分については市内5クラブの人頭割になりました。
- ・来年1月の例会から、事務局員1名の例会への対応となります。他クラブ及び郊外クラブへの対応の為、常時1名が事務局に残るということになりました。
- ・上磯R.C. の認証状の伝達式が12月14日(土)に行われますが、再度登録を受け付けますので、会員の皆さんよろしくお願い致します。

◎上磯R.C. 特別代表 滝野 敏弥 氏

新クラブには最低25名が必要ですが、大変困難を極めたところ、各クラブからの協力があり、20名に達した時点でR.I. に届けを出し、9月26日に第1回の創立総会を開きました。その後、10月16日にはR.I. から認証の許可が出ました。現在23名の創立会員で12月14日のチャーターナイトを迎えるところです。今後共よろしくお願い致します。

◎上磯R.C. 初代会長 神田 弘 氏



北クラブの皆さんには、物心両面のご後援をいただきました。平均年齢が42歳位の若いクラブですが、早く一人前に自立できるクラブに成長させたいと思っております。よろしくお願い致します。

◎函館五稜郭R.C. 酒井 正人 会長

五稜郭R.C. は創立27年になろうとされていますが、永い間の念願であった子クラブを創立することができました。特に北クラブには、テリトリーについてご理解をいただき感謝を致しております。23名の中には女性が2名含まれ若い会員のクラブです。どうぞ上磯クラブにご指導をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎幹事報告 佐々木 公和 幹事

- 千葉港R.C. から会報が届きました。回覧致します。
- 今、ご挨拶いただきました上磯R.C. 認証状伝達式は12月14日(土)、スビーチです。多数の登録参加をお願い致します。

◎親睦活動委員会 緒方 俊二 委員

ニコニコBOX投入報告

川村(函)会員……お花をいただきましたので、仏前に供えました。

上磯R.C.……表敬訪問に参りました。

西尾 会長……上磯R.C. の表敬訪問を歓迎して。

森(秀) 会員……成澤さんを歓迎して。

佐々木幹事……上磯R.C. を歓迎して。

遠藤(尚)会員……滝野特別代表に敬意を表して。

松橋 会員……いいふろ(11・26)の日を記念して。

東田 会員……BOXに協力。

新 会員…… ”

◎卓話 「タイ国をたずねて」 函館青年会議所理事長 成澤 茂 氏

タイを訪ねて(グローバルトレーニングスクールに参加して)

グローバルトレーニングスクールとは、民間国際貢献事業です。ここ数年(社)日本青年会議所では、フィリピンのピナツポ火山噴火の際の救援活動やマニラのスモーカーマウンテンでの援助活動、そしてタイ・ベトナム・ネパールに於いて数々の活動を行っています。この活動は、グローバルトレーニングスクール(略称GTS)の名の通り、青年会議所メンバーが国際貢献活動を自らが現地に行き、その活動を通して自分自身のトレーニングをするという目的があります。私自身も今回のGTSに参加し、改めて日本の繁栄と東南アジアの貧困層の実情を肌で感じ、今後、アジアの一員として、日本の果たすべき役割を多少ながら感ずる事ができました。今回訪問したのは、チェンマイの北方約140kmにあるフェイトン村という、人口約4,000人のカレン族の村です。フェイトン村のカレン族は、元来は山岳地帯で焼畑農業を営んでいましたが、森林環境保護のため政府

の政策で低地に移住しました。農業と日雇いの内職で生計をたてていますが、日収は80バーツ（日本円300円）程度です。仏教を信仰し肉食主義のためタンパク質の摂取が低く、非常に栄養が不足しています。政府からの補助で学校では給食も行っていますが、一食4バーツ（20円程度）ではどうしようもありません。私の見た子供達も一見して栄養不足であり、4才くらいに見えた少年の年齢が8才と聞いた時には愕然としました。私達の行った学校の食堂の建設は、摂氏40度を超す炎天下のもと140名の日本の青年が一致団結して行った訳ですから、大きな成果と友情をもたらした事は間違いありません。しかしながら、タイの山岳部族の実情を見るにあたり、一番印象に残った事は、どうやってこの事を日本へ帰ってからJCMメンバーに伝えたら良いかという事です。私は機会がある度にフェイトン村の事を一人でも多くの人に伝え、私のできる身近な事から支援して行きたいと思っております。

◎ 出席報告

会 員 数	70名	出 席 率	函 館 北	11月13日	86.57%
出 席	39名		函 館 東	11月12日	95.79%
欠 席	31名		函 館	11月7日	89.47%
他クラブ出席	19名		函館五稜郭	11月8日	100.00%
出席合計	58名		函館亀田	11月11日	85.45%
除 外 者	3名				

次回・12月11日
プログラム

会員卓話 「今の社交界について」

遠藤 光夫 会員

会 員 各 位

平成 8 年 1 2 月 4 日

函館北ロータリークラブ
幹 事 佐 々 木 和

今般、当クラブ会員より下記の方の入会推せんがありましたので、理事会はこれを職業分類委員会ならびに会員選考委員会にはかりました結果、両委員会よりそれぞれ適格であるとの報告をうけました。

よって、理事会はその報告に基づき会員候補者として、これをクラブ内に事前発表することになりました。

つきましては、同候補者の入会に対してご異議のある方は、来たる12月10日までに書面により幹事あてお知らせ下さるようお願いいたします。

氏 名	職 業 分 類	役 職	推 薦 会 員
牛 尾 公 昭	団 体 保 険	住友生命保険(函館)地域支社社長	北 村 祐 治